

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	999	課コード	1401	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input checked="" type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	農地に関する証明事務		実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	農業委員会事務局・農業委員会事務局	
	③事業主体	●市 ○その他 ()			④対象地区	<input type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input checked="" type="checkbox"/> 全市				
	⑤事業期間	平成20年度 ~			⑥担当職員数	2人 (換算人数) 0.15人				
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	1,305千円 (うち人件費 1,305千円)			
	⑧施策の位置づけ	施策コード	00000	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ (計画名)	
(2) 目的	施策目的・展開方向				事業目的	農地や耕作の状況等について、農業者及びその他関係機関が必要とする証明。				
(3) 事業内容	内容	農地等の諸証明を行う。 ・農業経営の実態証明 ・届出受理済証明・許可済証明 ・相続税、贈与税の納税猶予に関する適格者証明 ・引き続き農業経営を行っている旨の証明 ・生産緑地に係る農業の主たる従事者の証明 ・農地法の規定に基づく許可を要しない土地の証明 (非農地証明) ・税務署、裁判所からの照会			当該年度執行計画	受付、審査、発行を随時行う。				
		当該年度活動結果指標	申請件数 (60件)	単位	%	想定値	100	実績値	100	
(4) 達成目標 (期待する成果)	達成目標 (期待する成果)				指標種類	指標	単位	(5) 現況値	(6) 目標値	
当該年度	各証明等を審査、調査を行い発行する。				間接	申請、届出のあった適正な発行率	%	100	100	
令和3年度	各証明等を審査、調査を行い発行する。				間接	申請、届出のあった適正な発行率	%		100	
令和4年度	各証明等を審査、調査を行い発行する。				間接	申請、届出のあった適正な発行率	%		100	
(7) 事業実施上の課題と対応					代替案検討	○有 ●無				
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
			農地等の諸証明の発行		農地等の諸証明の発行	0	農地等の諸証明の発行		農地等の諸証明の発行	
		予算(決算)額	合計	0	合計	0	合計	0	合計	0
		国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0
県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0		
起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0		
一般財源		△18		△18		△18		△18		
その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input checked="" type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	18	<input type="checkbox"/> 特会 <input checked="" type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	18	<input type="checkbox"/> 特会 <input checked="" type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	18	<input type="checkbox"/> 特会 <input checked="" type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	18		
換算人数(人)		0.25		0.15		0.25		0.25		
正職員人件費		2,200		1,305		2,175		2,175		
嘱託職員報酬額		0		0		0		0		
臨時職員賃金額		0		0		0		0		
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		2,200		1,305		2,175		2,175		
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)		36.67千円/件		13.05千円/%		13.05				

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討 (拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？ (事業の必要性)	農地法制度等に対応する必要、義務がある。				●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった				○要 ●不要
	<想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 農地法に基づく農業委員会の事務であり、証明書等を発行する必要があるため。								
(2) 市が実施する必要性はあるか？ (市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない (理由) <input checked="" type="checkbox"/> 法令等で市が実施することが定められている <input type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他				●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった <input type="checkbox"/> 市が主導で進めなければ実効性がなかった <input type="checkbox"/> 市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された <input type="checkbox"/> 市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した <input type="checkbox"/> サービス水準が確保された <input type="checkbox"/> サービスの安定供給基盤が確保された <input type="checkbox"/> その他				○要 ●不要
	○②自治体である市が推進すべきである (理由) <input type="checkbox"/> 市が主導で進めることにより実効性が得られる <input type="checkbox"/> 市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される <input type="checkbox"/> 市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる <input type="checkbox"/> その他				<市実施の具体的な内容・必要性の理由> 農地法に基づく事務のため、農業委員会以外では証明書を発行することができない。				
参加・協働の工夫	参加・協働の内容				実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)				○要 ●不要
	市民の参加や市民との協働を工夫しているか？ (体制づくり) ○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他				参加・協働の程度・内容 ○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>				
環境への配慮	配慮の視点				実施した具体的な内容				○要 ●不要
	○①自然環境を生かしている ○②生き物と共存している ○③手賀沼を意識している ●④環境負荷低減に貢献している ○⑤その他				取組む内容 証明書に再生紙を利用している。				
(1) 目標設定は適切か？	現況値 (a) (%)		目標値 (b) (%)		達成状況		●①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ●不要
	100		100		実績値 (f) (%) 達成率 (%) (f/b × 100)		100 100		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減				実施状況				○要 ●不要
	事業費 (c) (千円)	事業費削減額 (d) (千円)	削減率 (%)		実績値 (g) (千円)	対事業費 (%) (g/c) × 100	○①想定事業費未済 ●②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？ (目標対費用)	目標値対事業費 (e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ●②目標値と同程度 ○③目標値以下		○要 ●不要
	7.66		●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値 (h) 対目標値 (%) (h/e) × 100		7.66 100		

3. 事後評価										
●現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善策及び展開方向					
	本事業は市の良好な農業の環境を維持するために必要な事業であることから、今後も現状のとおり推進していく。									

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (1000), 課コード (1401), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Summary table for post-evaluation with columns: 現状, 評価コメント, 改善案及び展開方向.

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (1001), 課コード (1401), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple rows for different criteria like necessity, participation, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with a table for current status and improvement directions.

Final summary table with columns for evaluation comments and improvement directions.

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	1002	課コード	1401	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	農地法3条・4条・5条の許可及び4条・5条の届出		実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	農業委員会事務局・農業委員会事務局		
	③事業主体	●市 ○その他 ()			④対象地区	<input type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input checked="" type="checkbox"/> 全市					
	⑤事業期間	平成20年度 ~			⑥担当職員数	4人 (換算人数)		0.5人			
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	11,070千円 (うち人件費 4,350千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)	
	⑧施策の位置づけ	施策コード	61002	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	(計画名)	
(2) 目的	施策目的・展開方向	無秩序な開発を防止し、適正な土地利用を実現するため、都市計画法をはじめとする関係法令や開発行為に関する条例等に基づき、開発行為や建築行為の適正な規制・誘導を進めます。			事業目的	①耕作目的の農地等の権利移動の制限(3条)、②農地を農地以外のものにする自己転用の制限(4条)、③転用目的の権利移動の制限(5条)、					
(3) 事業内容	内容	①不耕作目的の農地の取得等、望ましくない権利移動を規制し、農地が農業を主業とする者または主業としようと考えている者等の生産性の高い経営体によって利用されるよう誘導するため、権利移動の機会を捉えて土地利用の効率化を図る。 ②農地の農業上と農業以外の利用との調整を図り、優良農地を確保し、住宅・工場等の無秩序な立地による農業環境の悪化を防止し、農業上の土地利用を合理的に行う。			当該年度執行計画	①許可は毎月の21日から25日まで受付。 ②届出は毎日受付。					
		当該年度活動結果指標	申請件数	単位	件	想定値	120	実績値	104		
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値	
当該年度	農地法の許可基準に基づき審査を行い、許可、不許可を決定する				間接	申請、届出のあった適正な審査執行率		%	100	100	
令和3年度	農地法の許可基準に基づき審査を行い、許可、不許可を決定する				間接	申請、届出のあった適正な審査執行率		%		100	
令和4年度	農地法の許可基準に基づき審査を行い、許可、不許可を決定する				間接	申請、届出のあった適正な審査執行率		%		100	
(7) 事業実施上の課題と対応					代替案検討	○有 ●無					
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度			
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)
			農業委員報酬	6,720		農業委員報酬	6,720	6,720		農業委員報酬	6,720
		予算(決算)額	合計	6,720	合計	6,720	6,720	合計	6,720	合計	6,720
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	補助率	0%	0	0	補助率	0%	0	
	県支出金	補助率	0%	補助率	0%	0	0	補助率	0%	0	
	起債	充当率	0%	充当率	0%	0	0	充当率	0%	0	
	一般財源		6,720		6,720	6,720	6,720		6,720	6,720	
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.65		0.5		0.5		0.65			
	正職員人件費	5,720		4,350		4,350		5,655			
	嘱託職員報酬額	0		0		0		0			
	臨時職員賃金額	0		0		0		0			
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	12,440		11,070		11,070		12,375		12,375		
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	103.67千円/件		92.25千円/件		106.44						

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	農地法による業務および任意業務を効果的に執行することにより、農地の適正な管理が図られ、優良農地の確保ができる。				●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった				○要 ●不要
	<想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 農地法に基づく農業委員会の事務であり、農地の権利移動や農地転用などを審議するため。								
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) ■法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他				■①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他				○要 ●不要
	○②自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他				<市実施の具体的な内容・必要性の理由> 農地法に基づく事務のため、農業委員会以外では事務を行うことができない。				
参加・協働の工夫	参加・協働の内容				実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)				○要 ●不要
	市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり) ○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし。				参加・協働の程度・内容 ○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>				
環境への配慮	配慮の視点				実施した具体的な内容				○要 ●不要
	■①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している □⑤その他 <その他の内容>				農地の乱開発を防止することにより、環境保全を図ることができる。 市の良好な農業の環境を維持するため、農地利用の最適化を図っている。 ●①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>				
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		●①目標値達成 ○②目標値未達成		
	100	100	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象が有る場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(%)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因> 法に基づき適切な対応を行った。		
					100	100			
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ●②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 ■②現有体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託	□⑤PFI等民間資本の活用 □⑥受益者負担 □⑦その他	実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	●①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		
	11,070	1,370	<削減の内容>		11,070	100	<超過理由等>		
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ●②目標値と同程度 ○③目標値以下		
	0.9		単位	費用単位	実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		
		%	10万円		0.9	100			

3. 事後評価										
●現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善策及び展開方向					
	本事業は市の良好な農業の環境を維持するために必要な事業であることから、今後も現状のとおり推進していく。									

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード 1003 課コード 1401 会計種別 一般会計 予算の種類 政策 経常 なし

1. 事業の概要 (PLAN)
(1) 事業概要
(2) 目的
(3) 事業内容
(4) 達成目標 (期待する成果)
(7) 事業実施上の課題と対応
(8) 施行事項
(9) 財源内訳
(10) 人件費等
(11) 単位費用

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

評価項目: (1) 事業が今必要である理由・背景は? (2) 市が実施する必要性はあるか? (3) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (4) 環境に配慮して事業を進めているか? (5) 目標設定は適切か? (6) 事業費削減の工夫をしているか? (7) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か?

3. 事後評価

●現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)
評価コメント: 本事業は市の良好な農業の環境を維持するために必要な事業であることから、今後も現状のとおり推進していく。
改善策及び展開方向